

VSCode の設定を保存するファイル名は、 です。この**設定ファイル**には2種類あり、それぞれ ・**フォルダ**という単位で設定を行う事ができます。さらに、拡張子が **code-workspace** というファイルは**ワークスペース**の設定ファイルで、複数のフォルダを一つの単位として設定します。一つ目は最も基本となるもので、他の二つが存在しない場合は + , で表示される設定画面にはそのタブしか存在しません。(フォルダの設定ファイルは、そのフォルダに フォルダを作成してその中に保存します)

設定ファイルは、この設定画面を表示した時に右上に表示されるアイコンで(設定(JSON)を開く)をクリックするとエディタで開かれます。キーボードショートカットに、**revealFileInOS コマンド**に対して + + **E** を登録していますので、そのキーでエクスプローラでその場所を開く事ができます(**explore の E** と覚えましょう)。このショートカットは、開いてるファイルやツリーのフォルダをエクスプローラで開く為に登録しています。

VSCode のキャラクタセットはデフォルトは **UTF-8** ですが、設定によって言語や拡張子に従って **SHIFT_JIS** で開く事ができます。しかし、設定外でどうしても **SHIFT_JIS** でテキストファイルを開きたい場合の為に、設定ファイルの先頭に : "shiftjis" を置いておいて、先頭のハイフンを一時的に削除して **SHIFT_JIS** を強制します。

VSCode の運用で最も重要になるのが、コマンドの実行を行う の扱いです(これを一つずつ閉じるショートカットは + **F10** に登録しています)。この呼び名は一般的な呼び名であり、Windows の実体は と呼ばれているものを使うようにしています。また、このコマンドの実行処理をメニュー化できる という拡張が**使いやすく推奨されます**。(例えば、command 部分に **chrome** と記述すれば、Google Chrome を起動できます)

既定の設定では、 キーで**全てのコマンドの表示**(コマンドパレット)という機能が割り当てられています(エディタが開いている時、この時先頭に表示されている > を削除して を入力した後数字を入力するとその行番号にジャンプします)。この機能で表示される入力フィールドから **VSCode** で定義されている内部コマンドを実行する事ができます。また、それらのコマンドは個別の を登録できるようになっているので、作業に役立つ操作は登録しておきます。それらの定義された情報は、**%appdata%\Code\User** 内に **JSON** ファイルとして保存されます。この情報を **VSCode** 内から見るには + + **K** に設定していますので使用してください(**keybindings の K** です)。

設定の検索フィールドで と入力すると、**【キーを押しながらマウス ホイールを使用してエディターのフォントをズームします】**が先頭に表示されるので、チェックボックスをチェックしておいて下さい。また、**editor.renderWhitespace** の設定は、 にして下さい。**boundary** でも構いませんが、明示的に全てのスペースを可視化するのはプログラマにとって重要です。

設定ファイル内の値の候補をエディタで開いた **JSON** で表示するには、現在の値の直前にカーソルを置いて + **SPACE** キーを押します。これは、全ての**言語**で有効な**候補の表示方法**です。登録されている**言語の一覧**は、エディタで何かファイルを開いている状態でコマンドとして **change language mode** を実行すれば良いですが、ショートカットとして **CTRL +** を押してから両方離して キーを押すと表示されます。(または、ステータスバーの右下に**現在の言語**が表示されているのでそこをクリックします)

HELPメニューの を選択すると、見慣れた Chrome のデベロッパーツールが表示されます。つまり、VSCode は Chrome のテクノロジーを使用している事が解ります。その流れで、VSCode の全体の表示を拡大するのは **CTRL +** キーです(初期値に戻すのは **CTRL +** です)。拡大や縮小を行うと、設定ファイルに **window.zoomLevel** として書き込まれますが、既にその設定がされている設定ファイルのスコープ内で実行すると、それが書き換わり、どこにも無ければ基本となる設定ファイルに書き込まれますが、その場合値が 0 になると設定が削除されます(基本設定ファイルを開くショートカットは + + **S** に登録しています。使用中のワークスペース用の設定ファイルを開くのは、同様に + **W** です)

また、 キーで同様に全画面表示となり、**CTRL +** の後 **Z** キーで **Zen モード**となつて**ソースが全画面**となり **ESC** 二回で元に戻ります。